

特定行為看護師の RST 参画体制の拡充が IPPV 装着期間および離床機会に与える影響

◆研究の目的と概要◆

当院には、ボーダレス医療チームの一つである、呼吸ケアサポートチーム（以下：RST）が存在します。また、2021 年より保健師助産師看護師法に位置付けられた特定行為研修制度を導入しており、認定を受けた看護師（以下：特定行為看護師）が RST に所属しています。RST の活動としては、主に病棟で人工呼吸器管理をされている患者さんへ直接的に介入することで人工呼吸器からの早期離脱に向けた取り組みを行っております。

今回の研究では、RST に特定行為看護師が参画したことで、患者さんの人工呼吸器装着期間の短縮に繋がっているのかを明確にしたいと考えております。

◆対象となる患者様◆

2019 年 4 月～2020 年 3 月の期間と 2022 年 4 月から 2025 年 3 月までの期間で人工呼吸器管理を受け、人工呼吸器管理から離脱した患者さんを対象とします。

◆研究に使用される情報・試料◆

患者属性：年齢、疾患、性別、人工呼吸器管理となった理由、転帰、疾患分類、重症度、RST 対象者数、RST ラウンド件数、離床件数、人工呼吸器管理を行った期間、人工呼吸器から離脱した件数、離脱できるまでの日数、人工呼吸器管理中に行ったインシデントの報告件数

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（電子カルテ）からの情報を利用します。

* 本研究で収集した情報は、本研究の目的に関連する将来の研究において、倫理審査委員会の承認を得たうえで再利用する場合があります。その場合も、患者さんを特定できる情報は利用しません。

* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

SCU 病棟 研究責任者 築澤 幸輝

E-mail : kenkyu@kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得

られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合
にはその理由の説明